

陸參考資料第七号

二月十日
陸軍省新聞班

葛鵲進途上の滿洲國

滿洲國實業部課長
林 丙 炎 述

24

我滿洲國は以前舊政府時代悪政の爲人民の
困苦は極點に達してゐた所か土地はと云へば人も
知るあれほど廣い上に天然産物も豊富、土壤も
肥沃である故若し内政を治め外、睦誼を講し
人材を養成して以て土地を開發し、實業を振
興せば二十年の日子を要せずして吾が滿洲はと
うに殷富無比、世界の樂園になつて居たに
相違ないのであるが舊政府時代の悪政治家は
利慾心に強く内戦に加はること一再ならず人民
の血と汗とを以て獲た財貨を恣に擄取して種々
の武器を購入或は製造し、彪大無比なる兵力を
養つて個人の爭奪的慾望を達しやうとした、
急に財政窮乏に陥れば紙幣の濫發を以て
之を填補する、而して此の濫發が非度ければ

非度、ほど紙幣の價值は慘落し隨つて物價は
暴騰して人民の生活は益々困難の度を加へる許
りであった、其の上彼の貪官汚吏の輩が紂
をも凌ぐ暴虐政を以て、力に任せて或は良民
の財産を沒收し或は收賄、公金着服を恣にす
る一方、所謂胡匪が横行して姦淫擄掠爲さ
ざる無く統計によれば九一八事變以前は胡
匪の數二十萬人を下りず、人民は此の水深火熱
の中にあつて如何に呼號哀懇するも彼等は全

然耳を蔽ふて聞かすと云ふ有様であつたので
ある。然らば現在は何如？九一八事變以後
彼等の勢力は全く吾が東北の境界より外に
驅逐されてしまつた、勿論尚幾分が残つてはゐ
るが此等は烏合の衆に過ぎないのである、此の
機に乗じて吾が三千萬民衆が奮起したのは
只に滿洲國を建設して王道政治を布かんと
するに止まらず従前一切の弊政を根本から
覆して一歩進んで尙實業を振興し、軍備を

廃止して所謂家給戸足樂業の氣象人と争は
ない謙讓的精神を實現せんとするに在るので
ある、否云ふを許せば吾吾自の足下から始めて
一歩々々地球人類を大同世界に引導して
幸福を同享せしめんとするにありのである
而して我々は既に歩一歩光明の門へ進めつつ
あることを誇りを以て公言した、張學良
時代の養兵二十二萬、土匪二十萬の現在は何
何？、滿洲國々防軍僅か十二萬五千人之に
日本兵三萬五千人を加へるも十六萬人を越へ
ない現状である、而して近來軍事方面の活動
並政治の工作共に宜しきを得て北滿方面の
土匪は約五萬余に減し南滿一帶特に東邊
道及接聯地域には清郷法を施行した爲、此
も五萬人余を余すに過ぎず歸順するもの
も少なく現在では土匪は九萬人に迄減した
のである、政治の良悪の對比明かなるものがあ
るではないか。

次に紙幣は如何？

中央銀行成立して極力

整頓に努めてより舊紙幣は回収するのみで
新に發行することは許されず別に新に國幣を
るものを發行し之に代へつつある。此は七割
の現金準備に三割の保證準備で發行して
あるもので毎日發行高は一般に公表する故紙
幣價值は法に定むる所に従つて流通する。
従つて投機師の思惑買賣によつて金融
を攪乱される恐れもなくなり、人民の生活
も安定に向つつつある。

更に財政は

と云ふに大同元年年度豫算は

歳入一億零一百萬元、歳出一億一千三百
萬元であつて差引不足額一千二百萬元
は建國早々凡百の建設の爲僅かなる超
過であつて止むを得ないものと云ふことが出
來る。最も上記歳出中に千五百萬元の豫備
費なるものが算入してある故實際は差引大
差ないものである。今や既に關稅其他各種の

稅收は根本的に救正頓されてゐるのであるから
最も近い將來に於て所謂赤字をなくし得
ると信ずる。此れを軍閥時代の一切を顧みず
して無理に赤字を埋めたのとは比べず全く雪崩
の差も只ならぬものがある。而かも此の
内軍事費支出は僅に三千萬元に過ぎず、其他
は全部行政並に建設方面に流用されてゐる
點は互に軍閥時代と正反對をなすものであ
る。此の點から見ても吾々が建設方面に邁進し
てゐることは毫も疑ひなく我が國基の鞏固なる
ことも推想するに餘りあることと思ふ
所が世人間々吾が滿洲國を以て日本の助力に
よつて中華民國からの分家も施行したもので
となすものがある。成程吾が滿洲國は過去
に於いて日本の助力の下に成立したものであり
現在も尚其助力を受けつつあるものである
が根本は我が三千万民衆が彼の國民黨の理解
なき黨治軍閥の横暴なる圧迫を忍受し得ず

ウエルサイエンス會議以來の民族自主の精神
よりして、自ら立って國を組織したものである
ことは彼の清教徒が北米に在って英國の圧迫
に反抗し佛國の助力を借りて北米共和國を
成立したのと一般である、清教徒も英國人種に
ありながら母國の横暴なる政治に堪へ得ず
して獨立した、吾々も同じ事である、米國が大
陸であるならば吾々が滿洲も大陸である、米國が
各種の人種を包含してゐるならば我滿洲も漢
滿蒙回日鮮各族及其他永久居留の各人種
を包含してゐるものである、只異なる所は米國の成
立は比較的以前の事であつたから今既に各
種の實業は開發されてゐるに對して吾々が滿洲
は成立未だ日淺く開發の途上にあると云
ふに過ぎない、而して更に吾々が各種の天産蘊
蓄の豊富なるを思へば吾々が滿洲の將來が無
限の希望を包藏してゐる事が知れるのである

先づ鉞産から見ると

ならば滿洲は鉄流化鉄

砂金、金、石炭、油母頁岩、菱苦土、耐火粘土滑石、
白雲石、石灰石、硅石等々を産するが就中
石炭最も豊富で埋藏量は既知の概略統
計によっても三千五億噸の多きに達する故
一般秩序恢復の際交通便利となれば直ちに
開發に着手出来るのである。鉄の埋藏量
も本溪湖、鞍山ニヶ處について見ても本溪湖
は二億四萬噸、鞍山は四億四萬噸を下らず其
他の各處は尚調査されてゐないが若し全部から
採掘を開始すれば又其れ相当な量に達する
に相違ない。金及砂金は北滿一帯にのみ産す
るが埋藏量は三十五億元に上り、多年來の計
算面に一年間の採取が價值一千五百元上下
に止るのは金産地が多く未開僻處往々運
送中馬賊に掠奪される急發達が困難であ
つたに因るのである。今後治安にして維持さる
れば更に更に開發されるに相違はないわけである

次に農業に目を移す

ならは滿洲國は

遼河、松花江本支流、鴨綠江、豆滿江等
によつて横に貫流されてゐて、此等の流域の間
には日本人の計算によれば肥沃なる可耕地
は總計三千萬町歩（約九十萬方里）、其内
未開墾地が尙一千八百萬町歩（約五十萬方里）
あるのである、而して我が滿洲國は北緯三十八度
四十五分と同五十三度三十分の間に位するるので
あるから地中海の中央、伊太利の南端から西班
牙、佛蘭西南歐各國と同緯度である、加之気
候風土特に良しく此れ滿洲の農産が又特に
豊饒である所以である、大豆は世界總産額
の六割六分を占め年々の輸出は夥しい額
に達するものである、高粱、玉蜀黍、小麥等の
産出も少くなく高粱は酒澱粉の原料に供
せられ高粱稈も現在は柴として燃料に使
はれるが將來木材が乏しくなつた日には製
紙の原料ともなるのである

さて吾が滿洲國は元來農業立國である故

實業部では次の如き計畫を立案してゐる。

一交通部と連絡し交通機關を整備せしめて

内地の農産物の運出に便をらしめる

二大豆栽培法並大豆粕^製造法を改良して販路を

拡張せしめる

三煙草栽培法を改良して舶來品を驅逐する

四水田稻作を普及せしめて稻米産額を増加せ

める

五林業を救正頓して逐次採伐を進める

六農民間に農産物を材料としての手工業を奨

勵する

七柞蠶製絲の改良に努めて米國への販路

を開拓する

八農民への低利資金融通法をも酌慮して

資本家から受ける高利圧迫を免れしめ

て農村を振興する

九地勢を調査して開墾に便をらしめ併せて

土匪を招安し職業を與へ百姓をして居た

安んじ業を樂しませる

以上述べた所は第一歩的計畫にすぎないが
將來の發達情勢に應じて自然更に進んだ
方策も亦する予定である

元來吾が滿洲は大平原である故大農法を
行ふに適し今後機械を使用して工作すれば
收穫の増加は大に見るべきものがあると信
ずる

更に畜産方面を顧れば 滿蒙現有の緬羊

は約四百萬頭の多きに達するも産毛の品質
粗悪の爲第二級の毛織品の原料としかなら
ないが將來羊品種を改良して優良品種
を輸入し交配を進めれば、濠洲の産毛に優る
とも劣らないものになる事は決して困難ではな

い
牛は二百七十二萬七千頭、馬は三百二十二萬頭
豚は八百三十五萬頭に上り其他驢馬八十一
萬頭、騾馬五十七萬頭を下らず皮革

の産額さへ毎年相当な額に達するものがある

林産はと云ふに 樹種は三百余种に及び林野
地積は殆んど全國の三分の一を占めてゐる。

奉天省の鴨綠江右岸及渾江流域の森林の如き、吉林省の松花江上流々域、圖們江流域、牡丹江流域、蘭浚河流域、依蘭區域及び東支鉄道哈綏線區域等各種の森林の如き、更に黒龍江は東鉄路哈滿線區域、大小興安嶺區域の森林の如きは、通計面積約一百三十一萬五千余方里に達し、木材蓄積量約一千九百四十六萬余石に上るのである。若し經營法にして宜しきを得れば林業のみを以てしても充分なる國富をなすことが出来るのである。刻下吾が實業部は全國の林政に對して、國有林及私有林を如何に整理整頓すべきか、保安林は如何に調査し設定すべきか、原生林は如何に保護するか、荒山は如何に造林すべきか、更に進んでは民間造林を如何に指導すべきか等について

立案計畫に着手しつゝある。此の外林
業試験場を創設して林業改良育苗造
林の便を圖り、行くく天然林を凡て人工
的公正林と化し、凡ゆる荒山廢地に全部造
林せんことを期するのである。故に經濟林、
保安林、風景林は若し經營其の宜しきを
得れば只に之を取つて盡くるなく、之を用ひて
つぎつとつことを期するのみに止まらず
併せて旱魃水災をも免れしめんとするの
である。

次に以上述べたる所によつて知る如く吾々が滿
洲は此の豊富なる資源を擁して、ながら只
一つ缺く所は即ち工業の振興で従つて目下
は原料を輸出する外ない有様である。吾
々は此に鑑み實業教育に大いに注意を拂
ひ在來の工業を現代化すると同時に一方外
國の資本の輸入を歓迎し五口々と協力せん
ことを希ふのである。吾々は資本の国籍

を論ぜども、如何なる國民と雖ども苟くも、
彼等の主張にして吾が王道政治に背決せ
ざる限り、其の投資を双手を擧げて歓迎
するに吝ならざるもので決して狭隘なる國
境的思想を抱くものではないのである。
而して実業の振興は練熟なる技術者の
指導に俟たなければならぬものである。
彼の北米合衆國も建國後伊太利獨逸等
諸民族の共同勞作によつて今日の富強を
致せし如く大差なき國家成立經過を經
均しく国土が大平原性に屬して農業に
最も適し、且物産豊富の點に於ても彼
我共に相譲らなむ吾が國も当然同様に
諸民族の一致協力に依つて振興さるべきも
のである。然り云ふを許せば吾が滿洲國
は「東亞の米國」とも云ふことが出来る。唯
彼は共和政体ではあるが外に向つては常
にモンロー主義を行ふものである。

従つて種々の政策は兎角資本家的色彩
を脱し得ない換言すれば吾々の儒教の云
ふ霸道に相当するもので吾々が満洲國の
則る所の王道主義とは、絶対に背馳する
所のものである資本主義國家は共產主義
國家とは又根本的に相容れない。が均しく
極端に走つたもので王道の純正無疵に比
へ得べきものではない。故に吾々が満洲國の將
来こそは確實に世界無比の樂園であるこ
とを吾々は素直に断言して憚らなはるもの
である。